

## 2 雪害の状況等について

農林水産部

### 1 今冬の積雪状況

- 昨年末から断続的に降雪が続き、各地で平年に比べて2～3倍の積雪を観測した。
- 特に1月下旬には、県北部を中心に大雪となり、鷹巣の観測所では昭和54年の観測開始以来の最深積雪131cmを記録した。

### 2 被害の状況

(1) 被害額 133,709千円 (3月5日現在)

#### (2) 被害内容

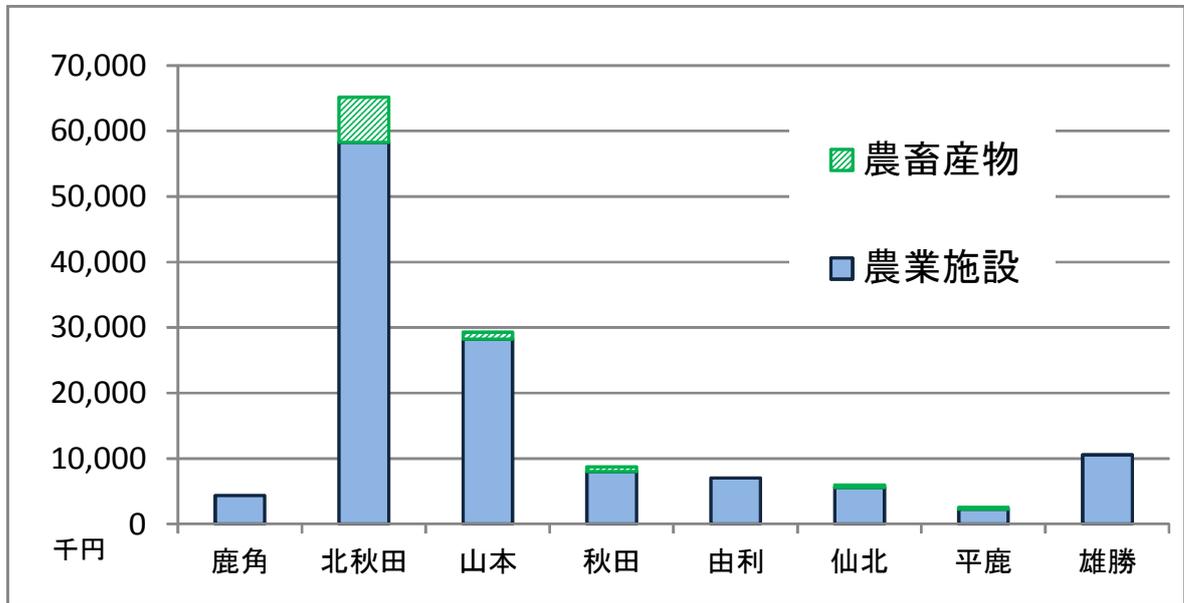
- 平年より積雪は多かったものの、晴れ間を見て除排雪が行われ、被害は抑えられていたが、1月29日～30日に県北部を中心に大雪となり、パイプハウス等の損壊被害が発生した。
- 被害額のうち、農業施設被害が93%を占め、124,339千円となっている。(表1参照)
- 農畜産物では、パイプハウスの損壊により、栽培中のホウレンソウや飼育中の比内地鶏の雛等に被害があった。
- 農業施設では、パイプハウスの損壊被害が大半を占め、ほかに農業用倉庫、ライスセンター、堆肥舎などで被害があった。
- 果樹では、昨年修復した樹体で被害が一部見られるものの、農家による樹園地内の除雪が早くから行われており、大きな樹体被害は見られない。

表1 被害状況

区分	被害額(千円)	数量	内容
農畜産物	9,370		
農作物	9,153	0.95ha	ホウレンソウ、シイタケ、山ウド、ネギ、小菊ほか
畜産	217	352頭羽	比内地鶏の雛350羽、豚2頭
農業施設	124,339	288棟	
農業施設	118,731	267棟	パイプハウス256棟、ガラスハウス1棟、農業用倉庫2棟、ライスセンター2棟、農業小屋3棟、堆肥舎2棟、牛舎1棟
共同利用施設 (JA、市町村)	5,608	21棟	JA白神の育苗ハウス等19棟、横手市大雄の堆肥センター1、畜舎1
計	133,709		

- 地域別では、県北部で被害が多く、北秋田管内の被害額が65,152千円と、被害額の49%を占めている。(図1参照)

図1 管内別被害額



### 3 これまでの対応

- 12月2日、1月12日、2月2日、秋田県農作物異常気象対策本部から、「大雪による農作物等への被害及び除雪作業中の事故防止対策の徹底」について通知
- 2月7日、県地域振興局、農業関係団体の参集の下、「雪害対策に関する連絡会議」を開催
- 2月13日、北秋田市において被害施設の現地調査を実施
- 2月27日、秋田県農作物異常気象対策本部から、「農作物における融雪促進等の当面の技術対策」について通知

### 4 今後の対応

- 施設被害と事故の防止については、引き続き指導の徹底を図るとともに、消雪の遅れによって春作業が遅延しないよう、融雪の促進及び育苗等の栽培管理について指導していく。
- 被害を受けた冬期農業の実践者や果樹農家等が、再生産に向けた意欲を失うことのないよう、市町村や農業団体等と連携のうえ、国の災害資金や、農業共済制度、既存の県単独事業等を総動員して、復旧に向けた個別相談にきめ細かく対応していく。